

札幌らしい特色ある学校教育の推進

札幌らしい特色ある学校教育は、中核をなす三つの共通テーマを【雪】【環境】【読書】として、全ての園・学校が共通に取り組むものです。札幌の素晴らしい自然環境・人的環境・文化的環境などを生かしながら、体験的な活動や、生涯にわたり学び・向上し続けようとする意欲を培うための基盤となる学習活動を教育課程に明確に位置付け、知・徳・体の調和のとれた学びを推進します。

幼・小・中・高のつながりを意識する視点

学年段階や校種間の違いによる子どもの学びや育ちの側面から、活動内容等を整理し直すことにより、つながりの視点を具体的にして学習効果を高めます。

札幌らしい特色ある学校教育



全ての園・学校が取り組む共通テーマ

雪国札幌を考える【雪】

札幌の大切な特色の一つであり、「札幌らしさ」を学ぶための貴重な資源である雪を通して、ふるさと札幌への思いを強め、雪に親しみ、雪と共生しようとする心を培います。



幼・小・中・高のつながり（例）

- 「課題探究的な学習」への位置付け
- 地域人材の活用

【地域を生かした活動へのアクション】

様々な雪遊びや雪を使った活動、ゲレンデスキー、歩くスキー等、幼・小・中・高の子どもの発達に応じた「雪」の活動をつながりの視点で考え、取り組むことが考えられます。

- ・地域行事との関連

未来の札幌を考える【環境】

「環境首都・札幌」宣言に基づき「さっぽろ地球環境憲章」を制定した札幌の市民として、四季折々の美しい自然と豊かな文化を次世代に伝え、地球と札幌のよりよい環境を創造しようとする心を培います。



【学校におけるSDGsへのアクション】

SDGsの理念である持続可能な社会を築くためにどのような行動ができるかを、子どもと共に考え、三つのテーマと関連させて取り組むことが考えられます。

- ・関係機関等との連携

学びの基盤となる【読書】

読書により言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするとともに、知的好奇心をふくらませ、一生涯にわたり学び続けようとする心を培います。



【学校図書館の利活用へのアクション】

学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」の機能と役割を生かし、子どもの「学ぶ力」の育成に取り組むことが考えられます。

- ・学校司書、学校図書館ボランティア等の活用
- ・中央図書館、地区図書館との連携